

いずみ

令和8年度 6月号

図書委員会 2年1組

熊野甫 ・ 渡辺怜



6月になりました。制服も夏服に替わり、教室内が一気に明るくなった感じがします。涼しげな夏服にあやかって、身の回りを整理整頓して、梅雨の時期を軽やかに過ごしましょう。



～教育実習生お勧めの本～

① 高校生に読んでもらいたい本・お勧めの理由 ② 北高生にメッセージ

① 『置かれた場所で咲きなさい』 渡辺和子:著

(藤澤和心 保健体育)

うまくいかないときに無理に咲かせようとせず、下に下に根を伸ばしていつか大きく咲かせれば良いというような意味や、自分が望んでいない場所であってもそこで最善を尽くすということが書かれていて、苦しい時にそっと背中を押してくれるような一冊だから。

② 思い通りに行かないことも沢山あると思いますが、自分のことを大切に、勉強も部活も頑張ってください。

① 『杜子春』 芥川龍之介:著 (井上悠香 芸術・書道)

中国の古い話をもとにした短編小説で、貧しかった主人公が「人間として本当に大切なものは何か」を知っていく物語です。短い作品なので読みやすいですが、読んだ後に幸せとは何か、人として大切なことは何かを考えさせられる深い作品で、自分自身を見つめ直すきっかけになる一冊なので、是非読んでみてください。

② 図書館には、自分の考え方や世界を広げてくれる本が沢山あります。勉強や部活動、進路など悩むことも多いと思います。少し疲れた時や何かに迷った時は本を手にとってみてください。自分の好きなことや大切にしたいものを見失わず、今しかできない経験を大事にしてほしいと思います。

① 『夜のピクニック』 恩田 陸:著

(亀井真希 地歴公民・公共)

この本は、高校最後の学校行事「歩行祭」で、生徒たちが夜通し80キロを歩きながら友情や将来について考える青春小説です。高校生の悩みや人間関係が凄くリアルに描かれていて共感できる部分が多くあると思います。読んだことのない人は是非読んでみてください◎

② SNSでたくさんの情報に触れられる時代だからこそ、ゆっくり本を読むことでリフレッシュできるかもしれません。勉強・部活など忙しいとは思いますが、そんな時に本を開いてホッと一息つくといいかもしれません。

① 『容疑者Xの献身』 東野圭吾:著

(伊藤聖 地歴公民・日本史)

ミステリー小説なのですが、まずはトリックに知性の凄みを感じます。そして読み終わったあとに自分の中が空っぽになるような衝撃と切なさを感じさせてくれます。1人の人を守るために人間はここまでできるのかと、愛の深さに震えると思います。私は、読み終えたとき「献身」という言葉の本当の意味を知って泣きました。みなさんも是非読んでみてください。

② 私は本を読むことが得意ではありませんが、大学生になると今まで以上に書籍に触れることになると思います。読書が苦手な人でも少しずつ読み進めることを習慣化しておくと思えます。「継続は力なり」です。毎日の朝読書の時間を大切に！



教育実習生お勧め 4 冊のうち2冊は図書館にあります！
ぜひ、図書館をのぞいてみてください。



今年の夏の読書感想文は「課題図書」で書こう！「読むこと、書くこと、自分を知ること」

《第 72 回青少年読書感想文全国コンクール》

今年も魅力的な 3 冊の本が選ばれています。図書館に並んでいますので、是非手に取ってみてください。

★『スウィッシュ！(Swish!)』 藤ノ木 優 著(徳間書店)

自分にもきっと新しい可能性がある。運動が苦手なキャプテンと骨折したエース。人生を変えてくれた親友と、もう一度同じコートに。2 人の絆が奇跡を起こす、青春バスケ小説。

★『ノアハム・ガーデンズの家』 ペネロピ・ライヴリー 著 斎藤倫子 訳(ゴブリン書房)

1970 年のオックスフォード。古い家に大叔母と暮らすクレアは、物置で見つけた異国の楯をきっかけに、奇妙な夢を見るようになる。イギリスで 50 年間読み継がれてきた名作。

★『平和のうぶごえ「原爆の子」として生きた 80 年』 早志百合子 著(毎日新聞出版)

世界中で読み継がれる、広島に被ばく少女の体験手記『原爆の子』。仲間とともに生き抜いてきた戦後 80 年と被爆体験の継承。最晩年を迎えたその筆者らがいま伝えたいこと。

《図書委員おススメの本 part2》

書名	作者名	おススメの理由	図書委員
空の中	有川浩	この話はある不思議な事件により父を失った男子高生と幼馴染の女の子、女性自衛官、民間機の事故調査委員の男性、それぞれの視点でこの話の中心である「未確認生命物体」について話は進んでいきます。最後になるにつれて面白くなり、各キャラクターの心情が行き違いになったりするため凄くおススメです。漫画にもなっているので少しでも気になる方は読むことをお勧めします。	304
変身	フランツ・カフカ	セールスマンの男、グレゴールは、ある日突然“虫けら”へと姿が変わっていた！そんな唐突な展開から繰り広げられる「変身」の物語は、無常観や理不尽をありありと描き、煮え切らない最期を迎える。“カフカの”とも言われ第一次世界大戦期に大ブームを巻き起こし大作をぜひ手に取ってみませんか？巧みな文章で表現される人間の醜さ、不気味さを味わってください！	304
僕と君の 365 日	優衣羽	この本は、余命一年と知り自暴自棄になった主人公が立波緋奈と出会い恋愛を通して生きることの尊さを知る本です。特に恋愛系の本が好きな人におすすめです。ぜひ読んでみてください。	305
謎解きはディナーのあとで	東川篤哉	毒舌執事・影山と令嬢刑事の宝生麗子が織りなすユーモアミステリー。麗子がクセの強い御曹司警部・風祭と担当した事件は不可解な謎が多く、麗子は勤務後、執事の影山とともにディナーのあとに事件の真相を解き明かします。「お嬢様の目は節穴でございますか。」	305
桜のような僕の恋人	宇山佳佑	カメラマンを目指す主人公と、明るくて優しい美容師の彼女。二人は恋に落ちるが、彼女は人の何倍もの速さで老いてしまう難病を抱えていた。すれ違いながらも想い続ける二人の姿がとても切なく、優しく、儚い。今この瞬間を大切にしたい、桜のような小説です。	306
ほどなく、お別れです	長月天音	この本は、主人公が葬儀場で働いていて亡くなった人と遺族の思いを繋ごうと手伝いをしていく本です。また、この話は難しい設定ではなく、現実にもありそうな話なので、本を読むのが苦手な人でも読みやすく、感情移入しやすいです！読んだ後に自分ならどうするかについて考えさせられる本です。	306